

I 管理運営

1 開館

(1) 開館記念式典・内覧会

ア 実施日 平成7年11月19日(日)

イ 内容

(ア) 式典 エントランスホール・10時30分～11時

出席者 180名

- 1 開会
- 2 施設概要説明(教育長)
- 3 式辞(市長・市教育委員会委員長)
- 4 来賓祝辞(市議会議長)
- 5 来賓紹介
- 6 閉会

(イ) テープカット エントランスホール・11時

参加者 市長・市教育委員会委員長・市議会議長・滝川市生涯
学習部長・岩橋典子氏・共和小学校児童代表2名

(ウ) 施設案内 常設展示室・特別展示室

11時10分～11時40分

(エ) 祝賀会 地下大会議室・11時40分～12時20分

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 来賓祝辞(神奈川県生涯学習部長)
- 4 乾杯(市議会副議長)
- 5 歓談
- 6 閉会

(オ) 全天周映画試写 プラネタリウム・12時20分～13時

(カ) 関係者及び岩橋英遠展内覧会 14時～16時30分

(2) 供用開始

相模原市立博物館条例の施行日を市制施行記念日の11月20日(月)としたため、同日から供用開始を行った。

2 入館者数

年月	開館日数	入館者数
7.11	9	10,339
12	23	13,118
8.1	24	16,429
2	25	20,521
3	26	17,988
計	107	78,395

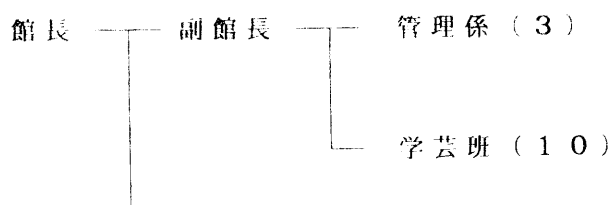
* 入館が無料であるため、大人、子供の内訳は把握できない。

機械計測による入館者数である。

プラネタリウム、特別展観覧者数は別掲

3 組織及び職員

(1) 組織



相模原市立博物館協議会

(2) 職員(平成7年11月20日現在)

館長(非常勤) 神崎 彰利 (任期・平成9年11月19日まで)

副館長 渡辺 亮

管理係

管理係長 長嶋 正樹

主任 中溝 明良

主事 志田久仁子

学芸班

副主任(学芸員) 大貫 英明(考古担当)

指導主事 山口 一郎 (植物担当)

主査 (学芸員) 杉本 芳秋 (天文担当)

主査 (社会教育主事) 守屋 博文 (動物担当)

主任 (学芸員) 浜田 弘明 (地理担当)

主任 (学芸員) 加藤 隆志 (民俗担当)

主任 (学芸員) 笹原 亮二 (民俗担当・平成7年12月31日退職)

主任 (社会教育主事) 梶浦 唯史 (地質担当)

主事 笠原 正則 (天文担当)

主事 若林 由美 (歴史担当)

* なお、受付案内業務は、(財)相模原市都市整備公社に委託し、9名が配属され、プラネタリウム投影業務の一部は、(株)東急コミュニティーに委託し、3名が配属されている。

4 博物館協議会

(1) 委員 (平成7年11月20日現在)

氏 名	備 考
栗 内 則 男	市立弥栄小学校教諭
上 屋 精 一	市立内出中学校教諭
池 田 高 明	県立大沢高等学校教諭
平 賀 友 子	市社会教育委員代表
安 藤 二 郎	市文化協会代表
香 村 紘 一	(会長) 市文化財研究協議会代表
佐 伯 美 鈴	市立小中学校PTA連絡協議会代表
長 田 かな子	地域史研究家
高 橋 秀 男	(副会長) 県立生命の星地球博物館嘱託
的 川 泰 宣	文部省宇宙科学研究所教授

(2) 会議

開催日	内 容
第1回 平成7年12月7日(木)	委嘱(11月20日づけ) 議題 1 会長及び副会長の選出 2 博物館の施設概要について
第2回 平成8年2月22日(木)	議題 1 常設展示の概要について 2 平成7年度の利用状況について

5 施設

(1) 施設概要

- 敷地面積 9,999.48㎡
- 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- 規模 地下1階・地上3階建て
- 建築面積 5,081.03㎡
- 延床面積 9,510.24㎡

(2) 施設管理

- 施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託をしている。
- 消防訓練の実施 平成7年11月15日(水)

II 教育普及

1 特別展・企画展

(1) 開館記念特別展『郷土の巨匠 岩橋英遠』

- ア 内 容 相模原市立博物館の開館を記念して、文化勲章受章者の岩橋英遠画伯の代表作(日本画13点・パステル画27点)を公開した。
- イ 期 間 平成7年11月20日(月)～12月10日(日)
- ウ 観覧料 無 料
- エ 入場者 7,450人

- オ 講演会 地下大会議室
 ・平成7年12月10日(日) 参加者60人
 「英遠芸術の意義」
 講師 草雉奈津子氏(山種美術館企画普及課長)
- カ 出版物 パンフレット10,000部、チラシ4,000部
 図録 2,000部

(2) 相模原市・中国無錫市友好都市締結10周年記念

中華人民共和国南京博物院・無錫市博物館文物展『江南の至宝』

- ア 内容 中国無錫市との友好都市締結10周年を記念して南京博物院・無錫市博物館の新石器時代から漢代までの文物を紹介した。(市長部局主催)
 ・無錫市博物館所蔵文物 20点
 ・南京博物院所蔵文物 79点(うち国宝2・一級文物17)

イ 期間 平成8年2月8日(木)～3月10日(日)

ウ 観覧料 大人 500円 小人(小中学生) 200円

エ 入場者

区分	大人	小人	計
有料	8,490人	505人	8,995人
無料	2,234	3,520	5,754
合計	10,724	4,025	14,749

- オ 講演会 文物講演会 地下大会議室
 ・平成8年2月18日(日) 参加者 80人

「日中を結ぶ『呉の路』」

講師 亀井明德氏(専修大学教授)

「高郵龍虬庄遺跡の考古学的新発見」

講師 張敏氏(南京博物院考古研究所副所長)

- ・平成8年3月3日(日) 参加者 200人

「南京博物院所蔵徐州東漢墓出土流金銅硯について」

講師 吉田恵二氏(國學院大学教授)

「呉国の印文陶と青銅器」

講師 陳瑞農氏(無錫市博物館副館長)

『中国古代の工具史と現在』

講師 徐藝乙氏（南京博物院民俗研究所副所長）

*通訳 胡啓明氏（無錫市外事弁公室）

カ 出版物 図録 3,000部 ポスターA 2・2,500 B 2・1,000部
リーフレット 30,000部 チラシ 4,000部

2 講座

(1) 民俗講座 『地域文化を考える①』 参加者のべ158人

回	実施日	内 容	講 師
1	8.1/13（土）	展示・くらしの姿 について	民俗担当
2	1/21（日）	伝承文化の捉え方	前杏林大学教授 井之口章次氏
3	1/27（土）	民具について	國學院大学講師 小川直之氏
4	2/3（土）	地域と農具	民俗担当

(2) 動物講座 『初心者のためのバードウォッチング』 参加者のべ128人

回	実施日	内 容	講 師
1	8.2/10（土）	野外に出る前に	動物担当
2	2/11（日）	身近な野鳥観察	相模原探鳥会
3	2/24（土）	相模原沈殿池の冬鳥	石塚文信氏 内田英樹氏
4	2/25（日）	相模原の野鳥	動物担当

(3) 植物講座 『市域の植物に学ぶ』 参加者のべ130人

回	実施日	内 容	講 師
1	8.3/9（土）	市域の自然	植物担当
2	3/16（土）	自生植物の分布や特徴	太田泰弘氏
3	3/23（土）	植物の標本作り	植物担当
4	3/30（土）	雑木林の観察	太田泰弘氏

3 プラネタリウム

(1) 一般投影

平日は、午後2時40分からの全天周映画と3時50分からのプラネタリウムの2回を投影し、土日祝日・夏休み等の期間には、さらに午前10時50分からの全天周映画と午後1時30分からのプラネタリウムで計4回の投影をしている

ア プラネタリウム一般投影番組

- ・ 太陽系探査：（平成7年11月20日～平成8年3月10日）
惑星探査機が撮影した映像をもとに太陽系の姿を紹介
- ・ 太陽：（平成8年3月17日～5月26日）
母なる太陽の素顔を紹介

イ 全天周映画番組

- ・ 「ザ・リビング・シー」
（平成7年11月20日～平成8年4月21日）
広大な海洋の姿を、そこに生息する様々な生物たちと共に描く。

(2) 学習投影

平日の一般投影前の時間帯に投影している。

ア 学習投影番組

- ・ 「星の動きと月の形」
小学校6年生の学習教材として制作
- ・ 「うちゅうの七にんきょうだい」
幼児向け番組として制作（太陽系の衛星と月の物語）

(3) 利用状況

月	開館日数	総数	一般投影プラネ	全天周映画	学習投影
7.11	9日	4,598人	2,127人	1,953人	518人
12	23	7,070	3,255	2,437	1,378
8.1	24	8,132	4,193	2,805	1,134
2	25	10,406	3,430	2,512	4,464
3	26	8,056	3,791	2,981	1,284
合計	107	38,262	16,796	12,688	8,778

(単位 人)

個人		団体		減 免		合 計
大人	小人	大人	小人	市内学校	その他	
17,234	10,209	785	792	8,764	478	38,262

4 星空観望会

- (1) 毎週金曜日の午後7時から8時30分まで40cm反射望遠鏡等を使った観望会を実施している。(雨天・曇天の場合中止)

実施日 1/12.26 2/2.23 3/22.30

参加者 185人

- (2) 百武彗星の接近に伴い、百武彗星を見る集いを実施した。

3/27(水) 曇天のため中止

3/28(木) 曇天で観測はできなかったが、プラネタリウムを利用した彗星の解説を実施した。

参加者 433人

5 学校利用検討会

小中学校等による効果的かつ積極的な博物館利用を図るため設置している。

- (1) 委員(平成7年度)

氏 名	備 考
栗内 則男	(副委員長) 弥栄小学校教諭
山田 仁子	清新小学校教諭
井上 満	中央小学校教諭
杉崎 久子	谷口台小学校教諭
土屋 精一	(委員長) 内出中学校教諭
上原 徹也	上鶴間中学校教諭
小国 清	山野台中学校教諭
齋藤 敦	大沢中学校教諭

(2) 会議

開催日	内 容
平成7年 5月26日(金)	博物館利用の手引きについて プラネタリウム学習投影ソフト案について
平成7年 7月4日(火)	プラネタリウム学習投影ソフト案について 博物館資料の貸し出しについて
平成7年 8月28日(月)	学芸員の学校派遣に関する事項について 博物館利用に関する教員対象の講座について

6 広報・出版

(1) 施設案内

- ・施設要覧 A4 17ページ 7,000部
- ・パンフレット A4 三つ折り 200,000部
- 英文 2,000部
- ・開館周知ポスター A2 500部

(2) 図録

- ・「郷土の巨匠 岩橋英遠展」42ページ 2,000部
- ・「江南の至宝」88ページ 3,000部

(3) プラネタリウム案内

- ・パンフレット A4 三つ折り
- 「太陽系探査」 30,000部
- 「太陽」 20,000部
- ・ポスター「太陽」 B3 250部

(4) 調査報告書

- ・「三匹獅子舞の諸相」 B5 120ページ 700部
- ・「研究報告第5集」 A5 110ページ 700部

(5) 博物館ニュース

- 「博物館準備だより」に引き続き発行
- ・「博物館ニュース」(開館予告号・創刊号・2号)
A4 4ページ 各2,500部

7 博物館実習

平成7年度は受け入れをしていない。

III 資料管理

1 資料の移転

開館前に市内12か所に分散保管していた資料を博物館に移転した。

実施期間 平成7年9月4日～10月19日

2 資料収蔵状況

別紙のとおり

3 資料の特別利用

(1) 資料の館外貸出し 8件

(2) 館内利用 6件

4 資料の燻蒸

(1) 実施期間 平成7年12月28日(木)～平成8年1月3日(水)

(2) 実施区域 展示室・展示準備室・各収蔵庫・実習実験室・作業室等

IV 調査研究

(1) 考古資料の実測等調査

調査者 大貫英明(調査補助者 加藤美智子)

調査概要 展示資料の補修と実測

(2) 歴史資料購入に関わる調査

調査者 若林由美(調査指導者 横田洋一)

調査概要 「広重三代 横浜波止場ヨリ海岸通異人館之真図」「広重三代 横浜新埋地高嶋町揚屋三階造海岸遠景之図」の鑑定

(3) 民俗資料購入に関わる調査

調査者 加藤隆志(調査指導者 神崎彰利)

調査概要 「除蝗録」「養蚕方法定則」「増補再版養蚕新説」「養蚕育手鑑」「養蚕図解」の鑑定

(4) 下溝地区民俗調査

調査者 加藤隆志

調査概要 下溝の一集落を取り上げた、伝統的な生活の様相や様々な
民俗についての聞き取り調査

(5) 地図資料調査

調査者 浜田弘明（調査補助者 岡本勝規）

調査概要 民間で発行された相模原に関する地図類の内容及び所蔵先
等についての調査と目録化

(6) 地図資料購入に関する調査

調査者 浜田弘明（調査指導者 清水靖夫）

調査概要 「第一師管地方迅測図程筒谷及厚木近傍」「大日本管轄分
地図」の鑑定

(7) 獅子舞調査

調査者 笹原亮二（調査協力者 小林康正、中村仁美、山田尚彦）

調査概要 従来在市域及び周辺地域の三匹獅子舞の調査成果を整理

(8) 星雲・星座のスライド化調査

調査者 杉本芳秋（調査指導者 酒井喜洋）

調査概要 天文展示に利用するメシエカタログ中の星雲・星座のスラ
イド化（7年度で全て完成）

(9) 変光星調査

調査者 杉本芳秋

調査概要 光電測光を行う際に必要な変換係数を求め、あわせてかん
むり座U星の光電測光を実施

(10) 相模川水系水生昆虫生息状況調査

調査者 守屋博文

調査概要 相模川水系の水生昆虫相を明らかにするため、水生昆虫の
採集及びその標本化を実施するとともに資料を同定し、生息
状況を調査

(11) 昆虫生息状況調査

調査者 守屋博文

調査概要 市域内を中心に昆虫類を採集、標本化し、生息状況を調査

(12) 植物調査

調査者 山口一郎（同定指導者 太田泰弘）

調査概要 市内及びその周辺に自生する植物の調査と資料収集

(13) 相模原台地の古地理調査

調査者 梶浦唯史（調査指導者 久保純子、吉山昭）

調査概要 相模原台地形成期（更新世後期～）における古地理の変遷を調査

(14) 博物館環境調査

調査者 東京国立文化財研究所保存科学部主任研究官 佐野千絵

調査概要 博物館の施設（展示及び収蔵関係）、環境（アルカリガス等）の調査

担当者 大貫英明

(15) 勝坂展準備調査

概要 平成8年度に実施する特別展の準備調査

委託先 相模原市立博物館勝坂展準備調査実行委員会
委員長 青木豊

委託期間 平成7年7月3日～12月25日

(16) 博物館入館者アンケート

・ 実施期間 平成7年11月29日～平成8年1月27日

・ アンケート回収枚数

973枚（配布約4,800枚） 回収率約20%

・ アンケート集計結果

男女別比率 男性 48% 女性 52%

年代別比率 学生 24% 一般 76%

住所別比率 市内 78% 県内 12% その他 10%

来館形態比率 1人で16% 友人と21% 家族と42%

その他（団体等）21%

・ 感想・意見について

全体の80%以上は好意的な感想であったが、展示・施設・その他に対する要望・意見は、延べ351件であった。

これらの要望・意見については、博物館で検討し、対応を図った。

博物館収集資料リスト

(平成8年4月1日現在)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	レプリカ	考古収蔵庫	1	点	3,642
	レプリカ	常設展示室	2	点	
	橋本遺跡出土土器	考古収蔵庫	846	箱	
	橋本遺跡復元土器	考古収蔵庫	190	点	
	古淵B遺跡出土土器	考古収蔵庫	40	箱	
	中村遺跡出土土器	考古収蔵庫	98	箱	
	田名塩田遺跡群出土土器	考古収蔵庫	425	箱	
	当麻下溝遺跡群出土土器	考古収蔵庫	1,865	箱	
	矢掛遺跡出土土器	考古収蔵庫	95	箱	
	矢掛遺跡復元土器	考古収蔵庫	80	点	
歴史	教科書等	古文書収蔵庫	3,126	点	29,605
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	4,747	点	
		特別収蔵庫	21,642	点	
	購入資料	特別収蔵庫	90	点	
民俗	農具・講中道具等	生活資料収蔵庫	5,200	点	5,200
地理	生活用具・産業資料	大型収蔵庫	4,600	点	9,381
	航空写真・地図等	図面保管庫	4,781	点	
地質	化石資料	地質収蔵庫等	137	点	822
	岩石資料	地質収蔵庫等	122	点	
	テフラ資料	地質収蔵庫等	166	点	
	ボーリング資料	地質収蔵庫等	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質収蔵庫等	51	点	
	参考資料	地質収蔵庫	23	点	
動物	魚類	液浸収蔵庫	40	点	13,663
	昆虫類	動植物収蔵庫	13,526	点	
	小動物等	液浸収蔵庫	84	点	
	鳥類	動植物収蔵庫	9	点	
	哺乳類	動植物収蔵庫	4	点	
植物	乾燥標本等	動植物収蔵庫	7,640	点	7,640
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,031	点	2,031
2次資料	図書・報告書等(詳細は別紙)	市民研究室等	17,613	点	20,858
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,245	点	
総計			92,842点		

収蔵美術品(社会教育課)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	217	点	274
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点	
	書	美術品収蔵庫	55	点	

2次資料（図書・報告書等）資料点数リスト

（平成8年4月1日現在）

市民研究室	
考古	3,765点
歴史	4,141点
民俗	1,200点
地理	931点
地質	735点
動物	711点
植物	252点
芸術	525点
博物館	1,926点
計	14,186点
天文研究室	
天文	266点
計	266点
情報コーナー	
図書	3,071点
ビデオテープ	90点
計	3,161点
合計	17,613点

博物館購入資料リスト (平成7年度)

No	分野	資料名	購入価格	内容説明
1	歴史	横浜波止場海岸通異人館之真図	280,000円	三代広重画。横浜の港を中心として山手の方面を描いた浮世絵。近代相模原に大きな影響を与えた開港場横浜を知る好資料である。
2		横浜新埋地高嶋町揚屋三階造海岸遠景之図	121,200円	三代広重画。新橋・横浜間に鉄道が開通した翌年に描かれた高嶋町あたりの光景である。他に類例をみない貴重な資料。
計			401,200円	
3	民俗	除蝗録	82,400円	大蔵永常著。稲の害虫駆除法を述べたもので虫害対策の指導書。近世農書としては基本的な資料である。
4		養蚕方法定則	123,600円	養蚕の実務経験によってまとめた著書で彩色図もある。養蚕技術の具体がわかる。
5		増補再版 養蚕新説	28,000円	養蚕の実践をまとめた実務書。新旧両様の体験が述べられ、養蚕の「マニュアル」として良書。
6		蚕養育手鑑	65,000円	近世に於いて養蚕の盛んな上野国の養蚕手引きで、内容の具体性をはじめ必備書といえる。
7		蚕桑図解	75,000円	明治新政府の殖産政策に対してまとめたもので、公的な性格をもった指導書である。
計			274,000円	
8	地理	大日本管轄分地図	150,000円	明治36年版の日本分県地図で、台湾を含む全51図からなる。(別冊として市町村一覧が付いている。)
9		第一師管地方迅速図程箇谷及厚木近傍	70,000円	明治25～26年に再版された2万分の1地形図で全9枚。(橋本・上溝を含む。)
計			220,000円	
10	天文	イミラック隕石	400,000円	1822年にチリ、アタカマ砂漠、イミラックで発見された石鉄隕石。(大きさ 70×136×5mm 225g)
11		ギベオン隕石	320,000円	1836年にアフリカ、ナミビア、ギベオンで発見された鉄隕石(隕鉄)。(大きさ 118×321×10mm 2080g)
計			720,000円	
合計 11点 (1,615,200円)				